

江府町地域おこし協力隊通信



こばやし たいし
小林 大二

広報支援（活動内容：奥大山
ユーチューバーとして動画制
作など）

今月（10月）行った事は、鳥取県教育委員会と連携した県内小中高生及び教職員向けの動画講座。倉吉市で開催された県内自治体広報担当が集まる広報連絡協議会で動画広報について講座。日本広報協会が発刊する全国の自治体広報の優秀事例を取り上げる広報誌「月刊広報」に江府町の取り組みについて記事執筆 + 掲載。そして県の人口減少社会対策課の情報発信事業「とっとりダイアリー」の情報発信者として県庁での任命式に出席。独立に向けて、ひとつずつ積み重ねています。



かとう ひろや
加藤 紘也

広報支援（活動内容：奥大山
ユーチューバーとして動画制
作など）

今年も早いもので11月になり残るところあと1か月ほどに…。昨年末は地元に戻りあわただしい時間を過ごしましたが、今年は昨年の反省を活かして江府町で年を越そうと考えています。新年に心機一転、新しい気持ちでスタートできるように。今年中にできることはしっかりとやっていきたいと思っています。



さとう かんた
佐藤 幹太

奥大山パークレンジャー（活
動内容：自然環境の保安、環
境の利用、関係機関との連携）

秋→冬へ移り変わる時期は野生動物（哺乳類）が活発に動き回る時期へなります。冬ごもり前の貯食、親離れした子の活動等理由は様々です。そして野生動物のロードキルが大変増加する時期にもなります。皆様も夜間車を運転する際はスピードの出しすぎにはご注意ください。動物だけでなく愛車の寿命も奪ってしまうこととなります。



ごとだ けんた
後工田 健太

移住定住支援員（活動内容：
移住定住相談、移住定住に
関連する業務など）

島根県浜田市で空き家を5棟リノベーションして1棟賃宿を運営している斎藤さんのところへ物件の見学・研修に行ってきました！

全国的に問題になっている空き家の利活用や資産活用についてこれから江府町にも取り入れていきたいと思っています！



疥癬は、『ヒゼンダニ』というダニが皮膚に寄生することで発症する皮膚病で、かゆみと皮



←（疥癬になったタヌキ）
昼間に散歩をしていたら、毛が抜けてなんだかへ口へ口になつていいる野生動物を見かけたことはありませんか？これは、『疥癬（かいせん）』という皮膚病になつていいる動物です。この地域では『ハゲ』とも言われていますね。

獣害対策
レポート
第29回
冬は要注意
疥癬の動物
日野郡鳥獣被害対策協議会
川野 風花
（問い合わせ）0859-72-1399

一段と気温が下がってくるこの季節、疥癬で衰弱したタヌキやイノシシがエサや住処を求めてふらふらと姿を見せることがあるかもしれません。疥癬になつていいる動物に限らずですが、野生動物に近づかない、触れないはもちろんのこと、『エサとなるものは外に放置しない』『動物が潜める場所をなくす』といった寄せない対策が大切です。

この疥癬は人間も発症する皮膚病ですが、動物と人間では寄生するダニの種類が違つたため、動物の疥癬が人間にうつることは無いようです。ただ、動物のヒゼンダニが一時的に人間の皮膚に張り付いて、アレルギー反応を引き起こすこともあります。困つたことに、疥癬で毛が抜けた動物は、体温調節ができない為、寒さをしのぐと倉庫などに居ついたり、ペットのエサや生ごみなどに依存する傾向があります。疥癬の動物がペットのエサを利用して、ペットに疥癬がうつってしまうこともあるそうです。

皮膚の硬化、脱毛などの症状があります。野生動物では、シカやイノシシ、タヌキ、アナグマ、キツネ…など多くの動物に感染します。